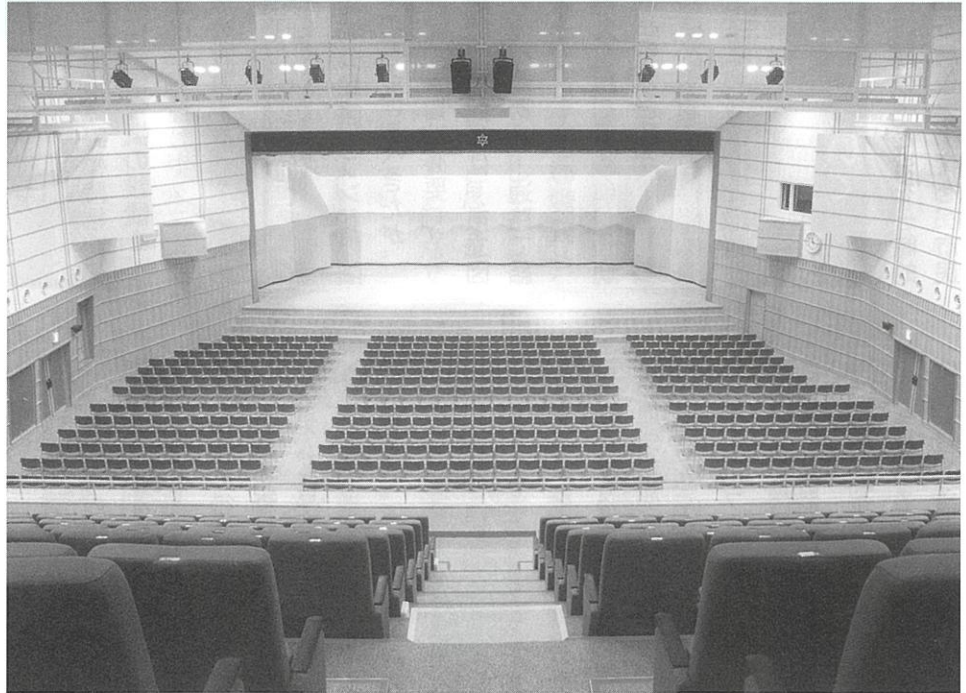




改修が終了した厚生会館(上)
一新された内部(右)



9月定例市議会の概要

9月定例市議会は9月7日から28日までの22日間にわたって開催された。

この議会には、「平成13年度一般会計補正予算」など20議案が提出されたが、その内、12年度の歳入歳出決算と企業会計決算の認定2議案については、決算審査特別委員会を設置して継続審査とし、残りの18議案をいずれも原案どおり可決した。また、人事案件6件の選任、任命、推薦についての議案を、それぞれ同意するとともに、意見書2件を採択した。

◆補正予算

一般会計では、庁舎省エネルギー化事業1、050万円、(仮称)福知山市佐藤太清賞基金積立金1、000万円、IT講習事業1、627万4千円など3億3、417万3千円を補正し、補正後の総額を288億7、857万3千円とした。また、特別会計は簡易水道事業会計など7会計で7億4、536万6千円を補正し、補正後の全会計の総額を669億7、755万9千円とした。

◆条例

福知山市佐藤太清賞基金条例の新設、また、福知山市税条例の一部改正のほか、4条例の一部改正を行った。

◆工事請負契約(2件)

- (仮称)福知山市リサイクルプラザ建設工事 20億7、900万円
- 三岳青少年山の家改築工事 1億6、485万円

◆人事議案

- 監査委員
和泉すゑ子氏(萩原、65才、新任)
- 公平委員
安達重喜氏(上紺屋、65才、新任)
- 教育委員
笠原 彰氏(水内、74才、再任)
- 固定資産評価審査委員会委員
芦田ふゆ子氏(東羽合、57才、再任)
- 人権擁護委員
浅尾善逸氏(南栄町、73才、再任)
- 芦田美津子氏(多保市、70才、再任)

◎国へ提出した意見書

- 道路整備財源の確保等に関する意見書
- 地方交付税の見直しに関する意見書(8ページに詳細を掲載)

一般質問

(9月定例会)

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

信号機の設置について

問 東野町の府道下野橋陸橋南側交差点に、信号機の設置を。

答 本年度中に、押しボタン式の信号機を設置する。

地域公民館の施設整備について

問 成和地域公民館グラウンドの階段に手摺をつけるべきだが。

答 急な階段で手摺は必要。

問 日新地域公民館には、市立図書館の分館があり、通路で結ばれている。スロープの設置と、不審者の侵入を防ぐために、仕切りをつけるべきだと思うが。

答 段差は検討する。図書館については、監視カメラを設置するなど対応策は検討する。

病後児保育について

問 病気回復期の子どもを一時的に預かる病後児保育を、市民病院に併設する考えは。

問 市民病院全面改築を視野に入れ、その中で検討したい。

答 徘徊探索支援サービスの導入を

徘徊探索支援サービスの導入を

問 徘徊で行方が分からなくなつたお年寄りを見つけ出す、探索システムを早期に導入すべきでは。

答 電波の送受信のエリアが狭く難しい。今後研究を進めたい。

難聴・中途失聴者のための「赤外線補聴システム」の導入を

問 人の声を赤外線に変えて、受信機に送る赤外線補聴システムを、厚生会館などに設置すべきでは。

答 改装中の厚生会館に固定式磁気ループを設置する。

聴力障がい児の早期発見を

問 聴力障がいの子どもを早期に発見するため、新生児を対象にした聴力検査が必要と思うが。

問 厚生労働省が全新生児に対する検査の実施を検討している。厚生労働省や府の動きを見ながらこれに対応していきたい。

公共施設内設置の自販機について

問 公共施設内に設置してある自販売機の台数と、電気使用料などの総金額と会計処理方法は。

答 ジュース・タバコなどで63台、約500万円、電気料として受け入れ、雑入などで処理。

日曜日のごみの持ち込みについて

問 第一日曜日のごみの持ち込み件数は。また毎週引き取ってもらえるようになるか。

答 総件数625件、家庭ごみの月平均は74・3件。祝日は開場しているので理解してほしい。

福政会

市町村合併について

問 市町村合併の効果としては、人口増加が期待でき、都市的

DV防止法施行に伴う対応は

問 10月13日からDV（夫婦や恋人間の暴力）防止法が施行されるが、暴力から逃れ、新たな生活を始めるための資金や民間賃貸住宅契約時の権利金・保証金などに貸し出しができないか。

答 現在8件の相談がきているが、人権問題であるので裁判所などでやるのが筋であり、市では荷が重すぎると思う。

中学校の水泳授業について

問 中学校にはプールがないので、学校が休みの日に中学生のクラブ活動などに、温水プールを午前中開放できないか。

答 水泳強化については、中学校の学習指導要領には「適正な水泳場の確保が困難な場合には、これを扱わないことができる。」とあるので、スイミングスクールを活用してもらいたい。

片山 照雄 野田 勝康
武田 光正 芦田 弘夫
和泉 すす子

答 市民に合併のメリットとデメリットと田園的機能が融合した広域的なまちづくりがはかれると聞いているが、市長の考えは。

リットをはつきり示し、市民の声を広く聞きながら進める。急がず、市民に決めてもらうことが第一だ。

景気対策、特に零細企業の支援策と就労対策について

問 本市の土木建築業者の健全な経営と雇用の安定を阻害する、極端な過当競争と採算性を無視した自殺行為的な入札を避ける対策は。

また、適正な価格で落札してこそ安全でよい工事ができると思うが。

答 地元業者を大切にすると観点で指名競争入札を行っている。

落札価格は安ければ安いほど良いということではなく、歯止めはかけている。

工事の質や工事施工の管理については、適正な監督と検査を実施している。

社会福祉基礎構造改革と、障害者福祉サービスの向上について

問 民間施設が行っている知的障害者更生の職業訓練の支援と、知的障害者の人権を守る対策は。

答 公共職業安定所などの機関と連携して支援していく。

新しくできるリサイクルプラザでは、選別の仕事をしていただくように考えている。

知的障害者に限らず、身体障害者、精神障害者を含め、障害者の人権福祉を最重要事項として考えている。

「広報ふくちやま」や、市の障害者福祉大会などのイベントを通じて啓発する。

下六人部地区自治会長会の要望について

問 下六人部地区自治会長会傘下の9自治会から提出されている要望事項の対応は。

答 実態を調査して、できる所から実施していく。

問 蛇池の土地区画整理、おぼと

答 おぼと上池の整備の進捗状況は。おぼと上池の整備は実現したいと思っており、来年度に調査を実施して、平成15年度の新規採択に向け府に要望している。

(仮称)丹波衣の館について

問 正式な名称、入館料の有無、職員の配置についての考えは。

答 正式な名称は、条例で決めなければならぬ。入館料はいたたかない方がよいと思うが、体験実習の部屋は使用料をいただいてもよいと思う。正規の職員を置くとも費用がかかるので、専門の方があれば嘱託でもよいと思っている。

福寿園の整備計画について

問 福寿園は築後48年が経過しており、ずいぶん老朽化しているが、整備計画についてどのような検討されているのか。

また、建築基準法に基づく防火設備等については大丈夫なのか。

答 何か公共の施設ができないものか検討させていただきたい。

そのためには地元の人たちの了承も得なければならぬ。また市が買取した竹やぶもあり、一帯にもう少し広々とした施設に建て替

新政会

大型プロジェクト事業について

問 市の大型プロジェクトで進行中の事業、今後進める事業における財政投入の総額は。

答 今後の大型事業では、市民病院の改築やリサイクルプラザの建設などがあり、これまでの事業を含めると総事業費は900億円以上になる。

問 大型事業に対して、市長の今後の方針は。

答 市としては、21世紀を迎えて

えたいと思う。

消防法に基づき設備は整えている。

養老水公園の設備について

問 樹木の管理、名水養老水源泉周辺の整備はどうなのか。遊具、ベンチ等の設置をお願いしたい。

答 シルバー人材センターに、年2回の除草剤散布と年3回の草刈りをお世話になっている。樹木の管理は、平成9年以来やっていないので、あまり行き届いたこととはできていない。今後、充実した維持管理に努める。

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 松本 | 良彦 | 井上 | 重典 |
| 森田 | 泰英 | 穂田 | 司正 |
| 田中 | 泰治 | 加藤 | 弘道 |
| 塩見 | 仁 | 田淵 | 弘 |

すごい事業費であり、延ばせる事業は延ばさざるを得ない。今後の地方財政計画、地方自治体に対する構造改革を見極めながら、慎重にやっていく必要がある。また、基金の活用も十分に考えていきたい。

市公共事業再評価審査について

問 予算化されて5年経過しても未着手の事業は。また、再評価して5年経過した事業はどうか。

答 再評価システムは平成10年度

設置したが実績はない。10年経過して継続中のものは、下水道で1件、都市計画公園で2件ある。

問 市において公社から買戻しができず、事業展開ができない土地はあるのか。

答 事業展開ができないものとして、三段池公園、醍醐寺線、河川改修、下水道などがあり、総面積は8、168㎡である。

京都創成大学について

問 京都創成大学が開学して2年目を迎えているが、今後の行政としての支援策は。

答 市としても三丹地域の学校を訪問してPRと要請をした。運営は大学自身の責任で努力が原則と思うが、大学のあるまちとして特性を生かす中で連携を強めていきたい。3年目が大切で全力を払ってもらっている。

問 市民と大学とのかわりはどうか。

答 市民に開かれ、地域に愛される大学として、英会話やパソコンなどの公開講座が開かれたり、メディアセンターの利用、また、学生たちが中心市街地活性化や、空店舗の活用を目的にしたフィールドワークに取り組むなど、様々

なところで関係している。

市街地の公園整備について

問 大谷公園、西駅児童公園の整備については、それぞれ地元住民の期待が大きいので、早期の整備を望むがどうか。

答 大谷公園の整備は国の補助金を受け、13年度より3か年計画として、また、西駅児童公園は鉄道のまちにふさわしい公園として地元住民の意見を聞き、早期に進めたい。

市街地の諸問題について

問 市街地の空店舗の利用については成果をあげているが、市街地の空き家を、地域のコミュニティの場、福祉活動の場として活用できないか。

答 陳情も出ているが、改装や維持管理の難しい問題が出てくるので、この話は具体的に言っていた方がいいと思っている。

問 駅南地域では水害に悩まされている。西川改修などが進むなか、完成までの応急対策は。

答 被害が予想される各家庭には土のうを配ったり、大雨時には南陵中学校の校庭に土のうをもうけ、鉄砲水を防ぐなどの対応をしていく。

問 西岡二区地域に点在する空地対策は。

答 当面は除草などの維持管理をほかりたい。

問 堀ヶ岡地区間の国道9号拡幅事業の進捗状況は。

答 用地買収の進捗は70%である。家屋等の移転があり、着工の時期についてはまだ言えない。

農業行政について

問 水田経営確立対策における13年度の生産調整実施状況は。

答 目標面積は706・62haで、8月末の集計では108%の達成率になっている。農区で計画的に取り組んでいたおかげと感謝している。

問 中山間地直接支払制度の進捗状況は。

答 新たに1集落締結して、37集落、1地域の328・5ha、92%という高い実施率となっている。

る。農道、水路の維持管理や共同利用施設、有害鳥獣駆除など集落営農の再構築が生まれている。

問 農区への行政支援と対応は。

答 複雑多岐な制度をお願いしているため、密接な連携と信頼関係を強めて、直接相談に応じて対話していく機会をもつなど努力している。

下水道部職員の厚生施設について

問 市民球場横の下水道部職員の厚生施設の利用状況は。

答 厚生施設は昭和50年11月完成した。今年度は8月までに2団体163人が利用した。

問 スポーツ利用者に開放はできないか。また、今後の計画は。

答 使用目的を厚生福利施設として利用しているので、一般の利用は考えていない。

自民クラブ

有 幸男 立道 正規
永田 時夫 和田 久

新ごみ焼却施設について

問 焼却施設でのパイプ破損事故後のダイオキシン類の測

定結果や周辺への影響は。

答 焼却施設の排ガスや周辺地域の土壌などを調べた結

果、国の基準を大きく下回っている。

問 事故について、3mmの穴があき、18ℓが流出したと答

弁されたが、元従業員は40mmの穴で、400ℓの流出であると主張され、双方の主張に大きな数値誤差が生じている。40億円を超える巨費を投じて安全性を強調された鳴り物入りの施設で、なぜ、トラブルが起きたのか。市民からは、不安と疑問の声が多く出ているが、本市の見解はどうか。

答 事故当時、緊急自動停止装置が作動したことを確認し、飛散灰を処理し、穴あき箇所を鉄板で囲い応急処理をしたあと、管理会社から説明を受けた。新聞報道の件に関しては、再度確認したが、報告に変更はなかった。今後、市民に不安を与えないよう信頼回復に努力を重ねたい。

補助団体の監査について

問 本市は、毎年1、400件の財政援助を行っているが、その内の7件程度の監査では不十分。補助金すなわち税金が、目的に添って給付と執行がされているかチェックすることは、重要なことであり、監査体制の強化と改善

を強く要望する。

答 補助団体の監査は規定で、必要があれば行うと定められている。行政の観点からは、収支決算書の中で、正しく補助金が使われているかチェックしている。

下六人部地区整備計画について

問 近隣市町村の人口が減少する中、本市は前回調査よりも1、337人増で、うち、下六人部学区が1、066人と、約8割を占めており、朝夕の通勤通学時には、自転車や車などが集中して危険な状況になっている。住民の交通安全対策として、岩間橋に歩道橋の設置を。

答 毎年の地元自治会要望であり、充分承知している。来年度予算編成時に財源を見ながら検討させてほしい。市の単費事業になると思う。



日本共産党市会議員団

仲林 清貴
藤井 節子
足立 進

国保資格証明書への対応、介護保険料の減免を

問 国は、国民健康保険料を滞納している人に対して、いったん医療費の10割を窓口で支払わなければならぬ資格証明書の発行を義務づけているが、本市の対応はどうするのか。

答 悪質な滞納をなくすことが目的だが、分納をしている人や今は払えないが、今後支払う約束をしてもらえれば、短期保険証を発行する。

問 低所得者の介護保険料や利用料の減免をすべきだが、また、市民に介護サービスの情報を提供するために、業者のカタログを窓口においてみては。

答 市独自の減免は考えていない。業者のカタログについては必要なことなので協議したい。

地方への税源の委譲を

問 小泉改革で地方交付税を削減する方向が打ち出されているが、国に税源の委譲を求めるべきではないか。

答 そもそも税収入では国の割合は地方よりも多く、歳出では地方自治体が多くなっている。この逆転をなくすべきで、地方への税源の委譲を要望している。

赤字生活路線バスの対策

問 生活路線バスにかかわる補助制度がきびしくなり、補助対象からはずれる路線が出る。その対応はどうするのか。

答 京都府が激変緩和の補助を行うことになるが、業者が撤退した場合は、市としても改めて検討する。



心配な生活路線バスの運行

虐待問題への対応、エンゼルプランの策定を

問 虐待問題など、子どもをとりまく環境は深刻、その対策は。また、子育てを支援するためにエンゼルプランの策定をすべきだが。

答 子どもたちの様々な問題に対応するため、主任児童委員が4名増員になる。また、エンゼルプランを策定していく。

同和行政の終結を

問 法律の経過措置の期限が、来年3月に迫っている同和行政を終結すべきだが、その考えは。

答 法の期限が終われば、奨学金や減免など一般施策で行っていく。

市民プール前の駐車について

問 市民プール横の駐車場が有料となり、この夏プールの市道の駐車が増え、行き違いが大変だった。来夏に向けて、有料駐車場の割引など改善する考えは。

答 駐車場の割引などは考えていない。

入札制度の改善を

問 入札制度で最高予定価格の事前発表が実施されるようになったが、今後、最低予定価格や指名基準などを公表すべきだが。

答 順次できるものから実施したい。

駅南地域の課題について

問 駅南区画整理事業の残された課題や、集会所・公園など、新たな要望への対応は。また、交通安全や冠水対策を。



高齢者でも安心して渡れる交差点に～国道9号駅南地内～

答 保留地は面積で75%売却、町界や町名の協議が行われている。

住民の要望がでてくると思うので、十分聞き、誠意をもって対応する。国道9号の信号の時間や交通規制など、善処してもらえよう要請していく。冠水対策として南陵中学校に一時的に水を滞留させるようにする。

乳幼児医療制度の拡充を

問 多くの自治体で乳幼児医療

無党派

芦田 廣
荒木 治清
荒川 浩司

エンゼルプランの必要性は

問 エンゼルプランは児童育成計画で、複雑多様化する現代社会には必要な計画であるが、全国状況と本市策定の考え方は。

答 全国3、200市町村中、867市町村が策定。府下では11市中、7市が策定。本市では来年度を策定の出発点としたい。

救急装備（ボート）の充実を

問 今年の夏も水による被害が発生したが、搜索ボートの数が

制度の拡充を行っているが、本市でも実施する考えは。

答 市単独では無理なので、京都府に要望していく。

選挙ポスター掲示板について

問 選挙ポスター掲示板があまり目につかないところがあり、調査し改善する考えは。

答 変更できるところがあれば変更する。

少なく感じた。今後の考え方は。

答 現状は一隻だが、現場の状況に応じて増数を検討したい。

差別用語の市民啓発を

問 人の心を傷つけるような不適切な発言がある。まちがいは誰にでもあることだが、問題は、何が差別用語なのか知らされていないところにある。今後の市民啓発は。

答 人権尊重を考え、聞いたら注意することが必要である。

常任委員会の審査報告

市民厚生委員会

議第15号平成13年度一般会計補正予算ほか3議案について、現地視察を行い審査した。

一般会計の補正は、児童手当法施行令の一部改正に伴う経費及び小規模通所授産施設「福知山共同作業所」の認可法人への移行に伴う諸経費である。

次に、介護保険事業特別会計補正予算では、介護保険の療養型病床群の伸びが予想を下回ったため介護給付費準備基金積立及び国庫負担金の返還金であるが、保険料の減額・減免、利用者へのサービスを望む意見、要望があった。また、福知山市病院事業会計

では、改築基本設計業務のほか、所要の経費を補正するもので、主な業務内容として、建設予定地5か所のボーリングを行い、地盤の支持力調査を行うのに加え、免震構造設計上の動的性状調査を実施するものである。

更に、(仮称)福知山市リサイクルプラザ建設にあたり、三菱重工・松村組共同企業体との工事請負契約を締結するものであるが、下請に際しては地元業者への優先などの要望があった。

以上で審査を終え、採決の結果全議案、いずれも全員賛成で原案のとおり可決された。

総務委員会

議第15号13年度一般会計補正予算の内、歳入は、総務費府補助金1、627万4千円、繰越金1億4、292万6千円などで、その補正総額は1億8、163万円であり、歳出は、市税の還付及び補助金の返還2、400万円、IT講習推進事業1、011万8千円、非常備消防費720万7千円ほか5件である。

議第25号、議第26号、議第27号議案は、条例の一部改正で、議第34号は訴えの提起に

よるものである。

委員からは、IT講習追加事業の内容、庁内LANの取り組みやセキュリティ問題、佐藤太清賞基金の使途、厚生会館の使用料増額の根拠等について質疑があった。

以上の経過で審査を終え、採決の結果、議第15号、24号、26号、27号、34号の5議案は全員賛成、議第25号は、賛成多数で原案のとおり承認可決された。

文教建設委員会

当委員会に付託された、議第15号平成13年度一般会計補正予算と、議第18号、議第20号、議第33号の4議案について審査を行った。道路新設改良費では、国道176号北陵コミセン入口付近で、バス停車帯や右折レーンの設置などの道路改良に伴い、市道上野条一本松線及び向山灰谷線の付け替えに要する用地費との説明があった。特に、議第33号工事請負契約の締結については、三岳青少年山の家改築工事の入札において、落札価格1億5、700万円であ

ったのに対し、予定価格との差額50万円の間、入札した業者が10社も入っていることについての質疑があり、理事者側からは「業者間での競争の結果であり、偶然である。」との答弁があった。他の委員から、高値での落札は市民の税金の損失でもあるし、公正で透明性の高い入札方式であり、地方自治法で原則となっている一般競争入札の導入の強い要望があった。以上で審査を終え、採決の結果、全議案とも全員賛成で原案のとおり可決された。

経済委員会

当委員会に付託された議案は、平成13年度一般会計補正予算ほか6議案であった。

経済部関係は、合併処理浄化槽設置整備事業の進捗率をあげるため、一層の支援策についての質疑があり、市は負担割合を超えて上乗せ補助を行っているとの説明があった。

下水道部関係では、立原・野花地区の特定環境保全公共下水道事業の国庫補助金の割当て増に伴うもので、安全対策と負担金について質疑があった。

公営企業部関係では、ガス料金の12・03%アップの改定をは

じめ、原料費調整制度の変更、プロパンガス料金との比較や、一人暮らしの方など少量需要家に対する配慮などについても質疑があった。

また多くの委員より、市ガスは環境にやさしいクリーンな天然ガスを原料としていることをPRして、販売の拡大に努めるとともに、一層のコスト削減をはかり、できるだけ安価な料金で市民に供給してもらいたいとの強い要望があった。

以上で審査を終え、採決の結果、全議案いずれも全員賛成で原案のとおり可決された。

9月定例会で提出した意見書

地方交付税の見直しに関する意見書

近時、国においては「聖域なき構造改革」の名のもとに、種々の改革が進められようとしており、特に、平成14年度予算編成では、道路特定財源の見直し、国債の発行額を30兆円以下に抑制することとともに、地方交付税の削減が打ち出されている。

しかしながら、そもそも地方交付税は、国庫補助金等とともに、国と地方の税配分と支出の比率が逆転している乖離を埋めるためのものであり、この比率を見直すことなく交付税のみが削減されれば、脆弱な地方財政は更に厳しい状況に陥ることになる。

よって、国においては、地方交付税の見直しにあたっては、地方への税源委譲を前提とされるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年9月28日

内閣総理大臣
財務大臣 宛
総務大臣

福知山市議会議長 永田 時夫

道路整備財源の確保等に関する意見書

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基本的な基盤施設であり、国土の均衡ある発展のためには、その整備が必要不可欠であります。

とりわけ「人と自然が織りなす交流舞台福知山」を基本テーマに北近畿の中核都市としてのまちづくりを進める本市にとりまして、近畿自動車道、国道9号をはじめとする広域幹線道路網の整備及び福知山駅付近連続立体交差事業や駅周辺土地地区画整理事業等街路整備の推進は、喫緊の課題となっております。

また、急速に進行する高齢化等に対応した安全・安心な地域環境の実現にとっても、生活基盤である道路の整備は極めて重要であります。

最近、政府においては、道路特定財源制度の見直しが検討されています。

幅広い論議は必要ですが、当地方にとって道路整備は必要不可欠のできない課題であります。

よって、国におかれましては、地域の実情を十分に認識され、安定的な財源の確保を強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成13年9月28日

内閣総理大臣
財務大臣 宛
国土交通大臣
総務大臣

福知山市議会議長 永田 時夫

日	内容
2日	由良川改修促進特別委員会要望(京都府・国土交通省近畿地方整備局)
6日	全国市議会議長会基地協議会近畿部会事務局長会(京都市)
7日	議会運営委員会
8日	由良川沿川市町議会関係委員会正副委員長会要望(国土交通省本省・同省近畿地方整備局ほか)
21日	弘前市議会行政視察来市
22日	市民厚生委員会管外視察(舞鶴市)
23日	北部四市議会連絡協議会(宮津市)
24日	全国市議会議長会基地協議会近畿部会総会(舞鶴市)
28日	全議員協議会、各派幹事会、福天加佐議会有害鳥獣対策協議会
31日	議会運営委員会行政視察(28、29日、廿日市市・春日市)
7日	定例会開会(提案理由の説明)
14日	一市三町議会議長会
17日	本会議(議案質疑、委員会付託、一般質問)、各派幹事会
18日	本会議(一般質問)
19日	本会議(一般質問)、各派幹事会
20日	各常任委員会
25日	文教建設委員協議会
28日	全議員協議会
1日	定例会会期
2日	近畿市議会議長会支部長市事務局長会(吹田市)

議会日誌

【8月～10月】

編集後記

9月11日、米国で史上最悪の同時多発テロが発生、犠牲となられた多くの方々のご冥福をお祈りいたします。あの惨状を見て、今の世界は、どこかおかしいと多くの人が感じているのではないのでしょうか。

9月定例会において、住民の立場で質問を行い、常任委員会でも市民の生活向上のために取り組んでいます。今後とも、ご意見やご希望をお寄せください。

3日	経済委員会行政視察(4日)総務委員会行政視察・市民厚生委員会行政視察(5日)
9日	各派幹事会
10日	文教建設委員会行政視察(12日)苫小牧市議会行政視察来市
11日	議会だより編集委員会
12日	島原市議会行政視察来市
15日	近畿市議会議長会支部長会(吹田市)
16日	近畿市議会議長会理事會準備事務局長会(大津市)
17日	八千代市議会行政視察来市
18日	京都市議会行政視察来市
19日	東海市議会行政視察来市
24日	近畿市議会議長会理事會(大津市)、議会だより編集委員会
29日	京都市議会議長会(宇治市)、八代市議会行政視察来市
31日	決算審査特別委員会